

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	3
事業名	ALT派遣事業	会計	款	項	目
		一般	10	1	2
政 策	5 子どもたちの生きる力を育むために	課名	学校教育課		
施 策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的（対象がどのような状態になっているか）	・英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもてるようにする。 ・外国語に関する指導力が向上する。
事業内容	①〔外国語指導助手派遣事業〕園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 小学校では、5、6年生の外国語、または3、4年生の外国語活動を対象に平均1クラス週1時間の授業を英語教育推進教員と綿密な打ち合わせをしながらH32全面実施の学習指導要領に則った授業を行う。中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 ②〔16年一貫教育プラン実践事業〕ALTの協力を得ながら東員学び検定の英語版テキストを作成する。ALTが検定員となり小学校で行う英語検定の4技能のテストを行う予定。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	中学校英語時間数（週／クラス）	2	2	2	時間		2	
	2	小学校外国語活動3、4年（週／クラス）	1	1	1	時間		1	
	3	小学校外国語活動5、6年（週／クラス）	2	2	1	時間		2	
	4								
	5								
				令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B				812		1,616		2,249	
財源 内訳	直接事業費A			680		956		1,523	
	うち一般財源			680		956		1,523	
人件費（千円）B				132		660		726	
内訳	一般職員（人・千円）			0.02	132	0.10	660	0.11	726
	臨時職員（人・千円）			0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。	③取組の課題	小学校の外国語（5.6年）、小学3.4年の外国語活動を、英語専科教員が行っており、言語活動が豊富にある授業を行っているためALTの需要が増している。
②R5年度に実施した取り組み	小中学校の外国語（英語）の授業に加えて、幼稚園6園でも外国語に触れる活動をALTが行い、幼少期から小学校、中学校へと連続して、外国人との会話に触れる機会を設ける。中学校や卒業後の英語活用を意識した取組を行った。	④今後の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。英語学習が好きな児童生徒の割合を高める。